IT部門のための基礎から始めないデータサイエンス入門【オンラインライブ】(4120361)

目的のアウトプットを想定し、様々な理論・技術をつまみ食いしながら、最終ゴールに短期間でたどりつくためのノウハウを紹介します。リアルなデータを使って、ネットワーク分析やペルソナマーケティングなど、新しい分析手法のプロセスを演習を通じて実際に体験していただくことで、「高い壁」と考えられがちなデータサイエンスが意外なほどあっさり乗り越えられることを実感するとともに、データを裏付けとした提案につなげていく力の体得を目指します。

開催日時	2021年3月1日(月) 10:00-17:00オンライン配信
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価　IS活用　業務遂行スキル 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：データ　What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術　How(データ・技術の活用)：活用方法・事例　Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	久保田真人 氏 （Ｍ＆Ｍコミュニケーションズ有限会社　代表取締役 ） 東京都出身 1962年生まれ　東京大学農学部農業経済学科卒業 都市開発シンクタンク、マーケティングコンサルティング会社を経て、2004年より、Ｍ＆Ｍコミュニケーションズ（有）代表。統計学、心理学を応用したマーケティング分析手法の開発及び教育を得意とし各クライアント課題解決のための調査設計・実施・分析に約30年携わっている。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	IT部門でデータ活用の基礎的な考え方を身につけたい方 初級
開催形式	講義・個人演習
定員	15名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	＊本セミナーでは、次の２つの無料ツールを事前にダウンロードいただきます。 ご受講はこちらがダウンロード可能な方が対象となりますのでご了承ください。 ①Kh-coder (https://khcoder.net/dl3.html) ②Polaris（キーグラフ） (http://www.chokkan.org/software/polaris/) ＊お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

オンラインライブセミナーについて、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に、必ずご確認ください。
本講座は、Zoomを使って、講師とともにワークショップ形式で進めます。
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

データサイエンスは、IT、統計、マーケティングの3つを統合しながら、膨大なデータから、様々な施策立案に資する情報を導き出す技術のことです。しかし、IT、統計、マーケティングは各々独立した技術・理論体系をもつ専門領域であり、ひとつを極めるだけでも非常に難しく、ましてこの3つを同時に体系的かつ網羅的に取得することは事実上不可能と言えます。

実際のデータサイエンスの現場で求められる解は常に応用問題です。かつ、その解を導かなければならない環境も、「時間とコストの最小化」という命題から無縁ではいられません。つまりゆっくりと「基礎」を学びながら自らを”データサイエンティスト”として磨き上げていくという手順を踏むことはあまり現実的ではないのです（艱難辛苦の末に、晴れて“データサイエンティスト”となった暁には、すでに学んだIT技術は古臭いものになっているかもしれません）。

そこで本セミナーでは、社内に存在しているであろう、いろいろなタイプのデータをベースに、まず目的のアウトプットを想定し、様々な理論・技術をつまみ食いしながら、最終ゴールに短期間でたどりつくためのノウハウを紹介します。

☒　リアルなデータを使って、ネットワーク分析やペルソナマーケティングなど、新しい分析手法のプロセスを演習を通じて実際に体験していただくことで、「高い壁」と考えられがちな”データサイエンス”が意外なほどあっさり乗り越えられることを実感するとともに、データを裏付けとしたプチ提案につなげていく力の体得を目指します。
また、利用するツールも、Excelなどの基本ソフトやフリーウェアを最大限に利用しますので、コストの面からも足を踏み入れやすい内容となっております。

<<受講者の声>>
●分析アプローチの一例として参考になった。　【情報通信業】
●演習を行ってデータ分析の難しさを体感できたことがよかった。分析ツールも使用できてよかった。【製造系情報子会社】
●データ分析を行うにあったって、有用な知見が沢山含まれている。【機械製造業】
●やってみる、というのが重要であると感じた。【製造業】

<<内容>>

1. データサイエンスとは何か

2. データサイエンスのプロセス
   (1) 求められるアウトプットとは～最終利用者のニーズを形にする
   (2) ゴールまでの最短距離を考える～分析計画のたて方
   (3) 材料を集める～存在するデータの理解と加工
   (4) ツールを準備する～分析のための道具箱

3. ３つのデータタイプから導くデータサイエンスの実例とプロセス
   (1) ネットワーク分析による消費者購買行動
   (2) ペルソナマーケティングによる重要顧客像の表出
   (3) テキストマイニングによる「お客様の声」分析

4. ケース演習
   実際のデータを使って、顧客の行動や特性のシナリオを導出し、社内のアクションプランを提案するという演習を行います
   (1) POSデータを利用した流通に対する棚割り提案
   (2) 消費者アンケートに基づくメイン顧客となるシニア層の特性抽出
   (3) コールセンターに寄せられたクレームから導く商品改善の方向性の導出などを想定しております。

5. まとめ
   (1) 演習の結果の振り返り
   (2) 社内活用のためのアクション

<<主たる効果>>
・データが読めるようになる
・キャッチしている、あるいはストックしているデータを、ストーリーを持ってみられるようになる
・データを可視化して他部門にプチ提案ができる

＜＜受講にあたってのご注意＞＞
本セミナーでは、次の２つの無料ツールを事前にダウンロードいただきます。
ご受講はこちらがダウンロード可能な方が対象となりますのでご了承ください。
 ①Kh-coder（https://khcoder.net/dl3.html）
 ②Polaris（キーグラフ）（http://www.chokkan.org/software/polaris/）

－－－

・推奨ブラウザ：Google Chrome
（Internet Explorerのブラウザ版では、一部機能の制限があり、受講が難しい可能性があります。）
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/214629443
初めてZOOMをご利用になる場合は、事前に接続テストを実施してください。
下記をクリックするとZoomの接続テストページにジャンプします。
https://zoom.us/test
・ユーザー名は、「お名前（漢字フルネーム）」に設定してください。
・セミナー当日は、15分前から受付開始いたします。待機室に入ってお待ちください。
ご入室後、事務局にて、お名前を確認させていただきます。
・ご参加の方には自己紹介（顔出しを含む）をお願いしております。
皆様が不安を感じない環境で開催をするための対応となりますのでご協力ください。
・服装はビジネスカジュアルでお願いいたします。
・飲食は自由ですが、雑音やマナーにご配慮ください。
・講座によって、ご発言していただく場合や各ツール機能を利用する場合がございます。
講師の指示にあわせて操作や切り替えをお願いいたします。また、ご参加時の環境にご配慮ください。